

【フィジカル AI の正体】

フィジカル AI は産業・社会をどう変えるのか

～世界の競争動向、現場実装の最前線、日本企業の勝機～

— 講師 — XinobiAI 株式会社 Co-Founder 共同代表 CEO 馬淵 邦美 氏

日 時	2026 年 12 月 1 日 (火) 午後 1 時～3 時
受講方法	会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場	SSK セミナールーム 東京都港区西新橋 2-6-2 ザイマックス西新橋ビル 4F

[重点講義内容]

生成 AI の進化は、デジタル空間から現実世界へと広がっています。ロボットや自動運転などを通じて認識・判断・行動する「フィジカル AI」は、産業や社会、私たちの仕事をどう変えるのでしょうか。

本講演では、著書『フィジカル AI の正体』をもとに、その基本概念と進化を支える技術、世界の主要企業や各国の動向、製造・物流などの活用領域をわかりやすく解説します。さらに、人と AI・機械の役割や責任の変化、日本の強みと課題をひもときながら、2030 年代に向けた産業・社会の変化と、フィジカル AI がもたらす未来を展望します。

1. フィジカル AI とは何かー「生成 AI の次」に起きる変化

ーデジタル空間から現実世界へ広がる AI、従来のロボットとの違い、いま注目される背景

2. フィジカル AI の進化を支える技術

ーAI エージェントや世界モデルの役割、現実世界を認識・判断し、身体を動かす仕組み

3. 世界の競争動向と産業構造の変化

ー米国・中国・欧州・日本の動向と主要企業の戦略、技術・データ・現場をめぐる競争と協業

4. 現場に広がるフィジカル AI の可能性

ー製造・物流などでの活用、人型ロボット・ドローン・自動運転の動向、実用化の現在地と課題

5. 人間の仕事と責任はどう変わるか

ー人と AI・機械の役割分担、働き方や求められる能力の変化、人間が担う判断と責任

6. 2030 年代の展望と日本の可能性

ー現場の知見やものづくりの強み、学習の成果を広く共有・展開する仕組み、日本が競争力を発揮するための条件

7. 質疑応答／名刺交換

P R O F I L E 馬淵 邦美(まぶち くによし)氏

米国でのエージェンシー勤務を経て、デジタルエージェンシーを起業し、事業拡大後にバイアウト。OgilvyOne Japan CEO など、デジタルマーケティング領域で計 4 社の CEO を歴任。

Meta 日本法人では、Instagram の日本市場成長をリード。Deloitte、PwC コンサルティングでは、AI・先端技術・デジタル変革領域における事業開発と経営変革を推進。

現在は、パーソナル AI の実現を目指す XinobiAI 株式会社を共同創業。松尾研究所シニア・アドバイザー、DIP 株式会社社外取締役、FLUX 株式会社監査役、Japan Spatial Forum 共同代表理事、Japan Personal AI Forum 代表理事として、AI、XR、空間コンピューティング、フィジカル AI の社会実装に取り組む。

